

ふくま振興会 第7期地域自治振興計画

計画期間:令和7年度～令和9年度(3ヶ年)

1 地区の現況

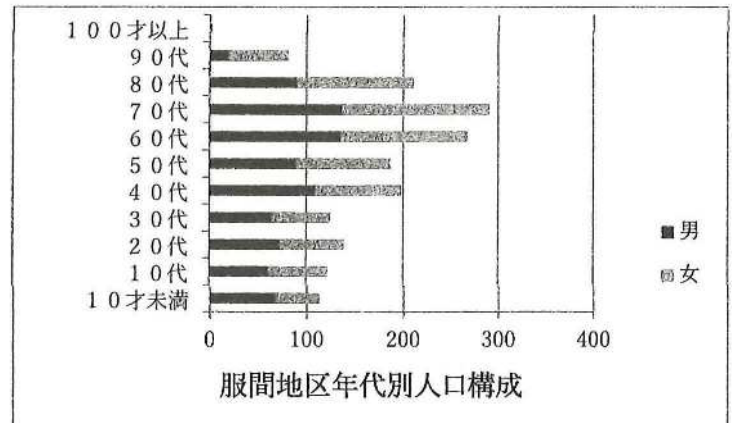
地区面積:2,107.3ha

行政区数:22区(10世帯以下:3町、11～20世帯:9町、21～30世帯8町、31世帯以上:2町)

	H18(2006)	H31(2019)	R6.4.1(2024)	備考
世帯数	616	603	569	H31比5.6%減
内65歳以上単身世帯		108(18%)	111(19.5%)	
人口	2265	1,868	1,586	H31比15.1%減
内65歳以上人口		741(39.7%)	699(44%)	
高齢化率の市内平均	25%	28.3%	29.7%	
小学生児童数	125	79	65	H31比16.3%減

2 地区の主な課題

- ・人口減による町内自治会活動の支障・活力低下
- ・災害時避難支援体制の充実
- ・高齢者の生活支援
- ・耕作放棄地及び管理放棄山林の増加・荒廃
- ・放置空家・鳥獣害対策
- ・青年の地域定着促進・健康寿命の延伸
- ・地域文化の継承、歴史資産の維持管理



3 課題解消に向けて

現在、服間地区は越前市内の中でも特に高齢化率が高く地域の過疎化も進んでいるが、まもなく、高齢化率はピークを迎え、「年少・現役人口だけでなく、高齢人口も減少」し、急激な人口減少によりさらなる地域活力の低下・地域コミュニティの希薄化が予測されており、このような状況を前提とした持続可能な生活しやすい環境の整備の取り組みが求められる。このため、地域がすでに持っている地域の魅力を最大限に引き出しながら、行政や本会以外の外部組織とも連携して「地域活力の維持・活性化」を図り、住民自らも考え、行動し、地域課題の解消に向けた取り組みを進めてゆくことが重要である。

4 地区のキャッチフレーズと目標 『みんなでささえ合う いきいき服間の里づくり』

- (1) 魅力ある地域コミュニティの形成
- (2) やさしく思いやりのあるふくまの里づくり
- (3) ふるさとを愛する青少年を育むふくまの里づくり
- (4) 100まで元気で生きる健康づくり
- (5) 服間を知ってもらおう、来てもらおう
- (6) 安全安心で住みよい服間のまちづくり
- (7) 持続可能な地域コミュニティの再生

ふくま振興会 振興事業計画体系表

『みんなでささえ合う いきいき服間の里づくり』

No.	部	地区の将来像	基本方針	実現のための事業
1-①	総務 広報 部	魅力ある地域コミュニティの形成	自治振興会組織の円滑な運営と社会教育事業の推進	自治振興会運営に関する事業(事務局)
1-②				広報事業
1-③				研修事業
1-④				夏まつり事業
1-⑤				今立4地区連携イベント事業
2-①	福祉 部	やさしく思いやりのあるふくまの里づくり	明るく楽しく元気良い福祉社会の実現	ふれあいいきいきサロン事業
2-②				おたつしゃ会(敬老会)
2-③				福祉ネットワーク強化事業
2-④				ふれあい食事サービス事業
3-①	青少年 育成 部	ふるさとを愛する青少年を育むふくまの里づくり	明るく活力ある担い手の育成	集落子供会活動支援事業
3-②				地域子供教室支援事業
3-③				青少年地域定着促進事業
3-④				新生児地域祝福事業
4-①	健康ス ポーツ 部	100まで元気で生きる健康づくり	笑顔と心の体力づくり。	地区体育祭事業
4-②				各種スポーツ愛好者大会事業
4-③				健康づくり事業
4-④				スポーツ育成事業
5-①	歴史 文化 部	服間を知ってもらおう、来てもらおう	語り継ごう服間の歴史	文化祭事業
5-②				服間のお宝発掘事業
5-③				柳の滝維持管理事業
6-①	防災 環境 部	安全安心で住みよい服間のまちづくり	地区の安全防災と美しく住みよい環境づくり	安全安心環境整備事業
6-②				防災啓発活動事業
6-③				地域環境づくり事業
6-④				鳥獣対策事業
7-①	ふるさと ブラン ディング 部	持続可能な地域コミュニティの再生	未来に残そう住みよいふるさとふくまの里づくり	地域課題を考える事業
7-②				ふくまブランディング事業